

ふだん着でCO₂をへらそう特集号

【問合せ先】

日野市環境共生部
環境保全課

☎ 042-585-1111 (代表)

FAX 042-583-4483

✉ kankyo@city.hino.lg.jp



CO₂をへらそうキャラクター
「エコアラ」「エコクマ」

みんなで地球を助けよう

ふだん着でCO₂をへらそう事業

特集号の発行にあたり

平成20年8月から地球温暖化対策として実施している「ふだん着でCO₂をへらそう事業」も、最終年度である平成24年度を迎えようとしています。

それぞれの家庭・事業所から省エネルギーの継続を宣言していただくこの事業も、2月15日現在で33,605世帯、2,480事業所から宣言をいただき、目標値である35,000世帯、2,500事業所に近づいてきました。

しかし、昨年3月に発生した東日本大震災後、さらなる節電や省エネルギーが求められ、ライフスタイル転換の必要性が高まっています。

今回の特集号では、宣言者の方々の取り組みや、さまざまな省エネルギーの手法などを紹介します。より一層のCO₂削減を目指しましょう。

環境保全課

市民の皆さまからの宣言が集まっています

▶ 2月15日現在の宣言数
 一般世帯 33,605世帯
 団体・事業所 2,480事業所
 宣言いただいた世帯の取り組みを集計すると、二酸化炭素(CO₂)を13,785t- CO₂(年間)へらせる計算になります。



これは、木(針葉樹)約98万本が1年間に吸収するCO₂の量に相当します(※)。

また、電気・ガス・水道・ガソリン料金に換算すると7億2,200万円(世帯平均21,500円)に相当します。

※樹齢80年に木(針葉樹)1本が1年間で約14キロのCO₂を吸収すると想定(出典：林野庁ホームページ)

皆さまのお宅を訪問しています

市職員や市民ボランティア「CO₂をへらそう支援隊」、市からの委託を受けた(株)日野市企業公社の職員が、市民の皆さまのお宅を訪問しています。

この訪問では、「宣言」のお願いとともに、既に宣言された世帯については宣言後の取り組み状況についてアンケートをお願いしています。皆さまのご協力をお願いします。

なお、訪問の際、訪問員は身分証明書を携行しています。ご不明な点がございましたら、お手数ですが環境保全課までお問い合わせください。



▲皆さまのお宅を訪問しています



市民の森ふれあいホールで太陽光発電クイズにチャレンジ

3月11日(日)にオープンする市民の森ふれあいホール(日野本町6-1-3)には、100kWの太陽光発電システムが設置されています。この装置で発電された電力は、施設の照明などに利用されるほか、災害時などの緊急用にも活用できます。ホールのオープニングイベントの一環として、太陽光発電や省エネルギーを紹介するコーナーを設けます。

このコーナーでは、環境に関するクイズや環境家計簿に挑戦でき、参加者にはLED電球

やキャラクターグッズが当たります。

また、市内の小学生がエコな暮らしをテーマに描いたポスター158点を展示します。

日 3月11日(日)
 午前10時～午後4時
 市民の森ふれあいホール2階コミュニティルーム1など



環境家計簿を作ってみませんか

環境家計簿とは、通常の家計簿とは違い、家庭で使用した電気やガスなどのエネルギー量を記録し、どのくらいのCO₂を排出しているか確認するものです。

この環境家計簿を、3月11日(日)の市民の森ふれあいホールのオープニングイベントの太陽光発電コーナーにお持ちいただくと、LED電球やキャラクターグッズが当たる抽選会に参加できます。

記入シートがない場合にも、電気・ガス・水道などの使用量のお知らせなどをお持ちいただければ、会場でご記入いただけます。

日 3月11日(日)午前10時～午後4時
 市民の森ふれあいホール2階コミュニティルーム1
 持 平成24年1月もしくは2月のエネルギー量記入シート(市役所3階環境保全課で配布または市ホームページからダウンロード可)
 他 3月11日以降は3月31日まで環境保全課で受け付け



ひのっ子エコアクションを進めています

市内の小・中学校では、学校版エコマネジメントシステムとして、ひのっ子エコアクションを実施しています。

学校ごとに「省エネ・省資源・環境にやさしい学校づくり」などを目指し、活動を設定しています。計画した活動は、実施後に評価を行い、次年度以降の活動に生かしていきます。



▲平山小での取り組みの様子

保育園・幼稚園を訪問します

エコクマ・エコアラと一緒に楽しくエコを学ぼう

キャラクターの着ぐるみが保育園と幼稚園を訪問し、クイズやDVDなどを使ってみんなでエコを考えます。子どもたちにエコを習慣づけてもらうことで、家庭で子どもから大人への働きかけへとつながっていきます。

地球温暖化を防ぐには、一人ひとりの日頃の積み重ねが大切です。次の世代に美しいふるさと日野を手渡すため、みんなで取り組みましょう。



キャラクターイラストを使用しませんか？

CO₂をへらそうキャラクターとして、ラッピングミニバスなどで活躍中の「エコクマ」「エコアラ」のイラストを、チラシなどにご使用できます。使用にあたり、守っていただく事項があります。詳細は環境保全課までお問い合わせください。



▶ベビーカーステラ焼き機を貸し出します

ご希望の方は、環境保全課までお問い合わせください。なお、カステラ作成のための原材料や、プロパンガスについては、各自負担になります。



第3次日野市地球温暖化対策実行計画(案)について寄せられたご意見に対して市の考えを公表

1月16日～30日に第3次日野市地球温暖化対策実行計画(案)に対するご意見などを募集したところ、6件のご意見が寄せられました。寄せられたご意見およびご質問に対する市の考えを3月1日(木)～15日(木)に公表します。詳細は、市ホームページまたは七生支所、市内各図書館をご覧ください。

環境保全課

これまでの事業効果の検証について

ふだん着でCO₂をへらそう事業は、平成20～24年度の5年間の取り組みとしてスタートし、4年目が終わろうとしています。市民の皆さまにもキャラクターとともに事業が浸透し、宣言数も伸びています。

地球温暖化のない、美しい地球を次の世代に手渡すためには、宣言後の継続的な取り組みが必要です。そこで、市では宣言された皆さまへのアンケート調査を行い、宣言後の取り組み状況や優れた取り組みを環境フェアや広報ひのなどでお知らせしてきました。

また、2年前から「省エネモニター制度」を開始し、実際の省エネ行動が電気・ガス・水道料金(光熱水費)にどのように効果があるかなどについて、省エネ行動とともにデータを公表しています。

このような事業活動による実際のCO₂削減効果については、現在、東京農工大学と連携し検証しています。詳細は、今後、広報ひのや市ホームページなどでお知らせしていきます。

CO₂削減 できることから始めよう

私たちはこんな取り組みをしています

各家庭での省エネルギーの取り組みを紹介

昨年10月に開催した「日野市環境フェア」で表彰された家庭での省エネルギーの取り組みの一部を紹介します。

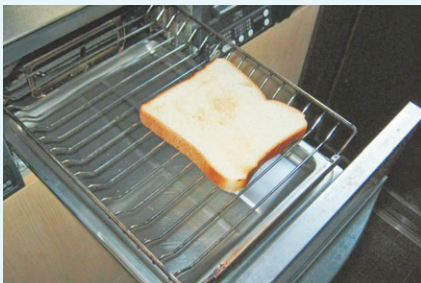
家電の見直し

日野本町の菊地さん

日野本町の菊地さんのお宅では、電化製品の要不要を徹底的に見直し、節電に努めています。

オーブントースター代わりに魚焼きグリルを使用し、お湯はやかんで沸かして魔法びんに入れることで電気ポットも使用していません。また、調理法を工夫することで、電子レンジも使っていません。いろいろな調理法があることを知ることで、家電を使わなくてもできる料理もあり、計画停電の際にも影響が少なかったとのこと。

また、菊地さんは、省エネのコツとして、楽しみながら取り組むことを挙げています。エアコンを使うよりは、近くにある水路や多摩川を渡る風や打ち水で涼をとっているとのこと。ちょっと不便でも、趣きのあるひと昔前のくらしを楽しんでみるのはいかがでしょう。



▲魚焼きグリルでもトーストが焼けます

ごみの削減による温暖化対策

旭が丘の青木さん

旭が丘の青木さんのお宅では、市が行う「容器包装お返し大作戦」が始まる前から、ペットボトルやトレーを販売店に返すなど、ごみ削減に積極的に取り組んでいます。

エコバッグに関しては、普段の買い物の時だけでなく、カラフルなものを旅行にも持って行き、お土産などを買う際にも活用しています。

また、ラジオやライト、キッチンタイマーなどの身の回りの品は、なるべく電池を使わない手回し式のものを使っています。このほか、生ごみを減らすため、レタスの外葉を炒め物にしたり、ジャガイモの皮を揚げておつまみにしたりするなどの工夫をし、一部は堆肥化もしています。

ごみを減らすことは、焼却や運搬で発生するCO₂も減ることになり、地球温暖化防止にも良い影響があります。



▲手回し式の機器

「見える化」機器の活用

東豊田の大平さん

東豊田の大平さんは、家族で早寝早起きを心掛けたり、風通しを良くしてエアコンの使用を抑えたりして、ライフスタイルを自然に合わせるよう工夫しています。

家電の使用に関しても、洗濯機、掃除機は午前中、食器洗い機は夜に使うなど、電力消費のピークとなる時間帯を避けるようにし、昨年の夏の節電にも取り組んだそうです。

また、大平さんは電力の使用量が分かる機器を使用し、冷蔵庫の強度設定などによる効果を検証し、家庭での省エネに利用されているとのこと。普段漠然と使っている家電も、どのくらいの電力を使っているのか数値で見ることにより、より効果的な節電ができます。



▲「見える化」機器は無料貸し出しも実施

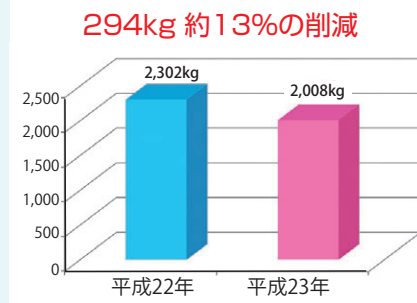
省エネ診断による効果

万願寺の橋爪さん

万願寺の橋爪さんのお宅は、毎月の電気、ガス、水道などの使用量を市に報告していただく「省エネモニター」制度にご協力いただきました。もともと、同様の家族構成の平均的な家庭に比べ、毎月5千円分程度電力使用量が低かったにもかかわらず、使用エネルギーから算出したCO₂排出量で、モニター期間中約13%、294kgを削減しました。

これらは、すだれなどによる日よけの実施、温水便座や不要照明の見直し、節水型シャワーヘッドの使用など、できることを着実に実施した結果です。

また、橋爪さんのお宅では、家庭の省エネ診断を行い、専門家の目によるチェックも行っています。省エネ診断は、東京都地球温暖化防止活動推進センターでも無料で行っていますので、興味のある方はこの機会にぜひ、ご利用ください。



省エネ診断をしてみませんか

東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)では、無料で診断を行っていますので、ぜひご利用ください。

▶家庭の省エネ診断…診断員が家庭の電力やガスの使用状況を確認し、すぐにできる省エネのコツをアドバイスします。

▶事業所の省エネ診断…技術専門員が事業所へ伺い、電気やガスなどのエネルギー使用状況や設備の運用方法を確認し、各事業所に適した改善策を提案します。

☎東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京) ☎03-5388-3422

消費電力の「見える化」機器を貸し出し

テレビや掃除機など家電製品の消費電力を「見える化」して節電・省エネをしてみませんか。

ブレーカーに取り付けて家全体の使用電力を測る「省エネナビ」と、コンセントと家電のプラグの間に取り付け機器の消費電力を測定する「ワットモニター」を無料で貸し出します。

これまで、貸し出しを利用した市民の方は、ワットモニター利用者で約19%、省エネナビ利用者で約25%の節電(前年同月比)をしています。

☎貸出期間…省エネナビ最長120日間、ワットモニター最長30日間 ☎市内に住所を有する個人・団体および「ふだん着でCO₂をへらそう宣言」を行った個人・団体 ☎市役所3階環境保全課窓口で受け付け ※貸出機器は数量限定のため、事前にお問い合わせを



▲省エネナビ

貸出者の感想

- ▶ワットモニター
 - 普段使っている家電の電気使用量が分かり節電の参考になった
 - 待機電力の大小が確認できた
 - 子どもの環境学習に役立った
- ▶省エネナビ
 - 消費電力のグラフ化で、電気使用量の多い時間帯が確認できた
 - 電気使用量が目に入ることで、家族の節電意識が高まった

▶省エネナビ貸出者の時間帯別電気使用量



モバイルソーラーユニットを貸し出し

太陽光から電気を発電・蓄電し、シガーソケットやUSB機器などを使用できるモバイルソーラーユニットを無料で貸し出します。

非常時には、携帯電話やLEDランタンの充電などにも利用できます。お祭りなどのイベントの際は、複数台を連結して100Vのコンセントとしても利用できます。(最大100W) 複数台での貸し出しもご相談ください。

☎貸出期間…最長30日間 ☎市内に住所を有する個人・団体および「ふだん着でCO₂をへらそう宣言」を行った個人・団体 ☎市役所3階環境保全課窓口で受け付け ※貸出機器は数量限定のため、事前にお問い合わせを



家電買い替えの際は 家計にもやさしい省エネ家電に



家電製品を買い替える際は、省エネルギー性も考慮して機器を選びましょう。省エネ家電を選ぶときに参考になるのが、統一省エネルギーラベルです。また、省エネ家電への買い替えは、CO₂排出量を削減するとともに、電気代の節約にもなります。例えば、10年前の冷蔵庫を最新のものに買い替えると、年間の電気代で約1万円の差が出ます。

★の数が多いものを選びましょう。

マークが緑色のものを選びましょう。

目安電気料金の安いものを選びましょう。

月以降は世帯平均で約17%の削減することができました。

※2月1日現在の集計結果です。モニターの方の入れ替えにより、昨年10月に報告した数値と平成22年度実績値が異なります。省エネモニターは、随時参加者を募集しています。ご希望の方は、環境保全課までお問い合わせください。

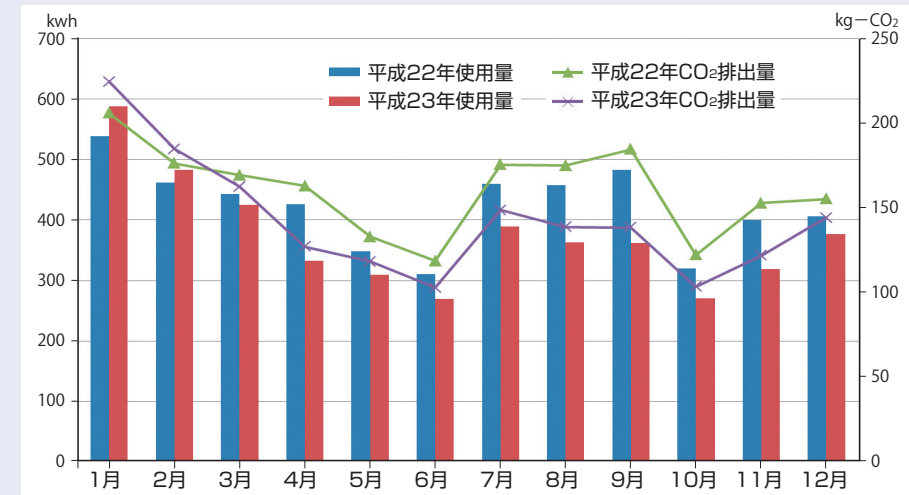
1カ月当たりのエネルギー使用料金の目安

電 気 (円/月)			都市ガス (円/月)			水 道 (円/月)	
世 帯	戸建住宅	集合住宅	世 帯	戸建住宅	集合住宅	単身世帯	1,900
単身世帯	5,400	4,400	単身世帯	3,000	2,900	2人世帯	3,700
2人世帯	7,700	6,300	2人世帯	4,100	3,700	3人世帯	5,000
3人世帯	9,100	7,400	3人世帯	5,600	5,100	4人世帯	6,600
4人以上世帯	11,400	9,300	4人以上世帯	5,900	5,100	5人世帯	7,800
						6人以上世帯	9,800

出典：東京都「家庭の省エネハンドブック」

省エネモニター制度を実施

グラフは、昨年と今年の参加世帯の平均電気使用量とそれに伴うCO₂排出量を示したグラフです。震災後の省エネルギーのご協力により、4





エコドライブ 燃費向上で 気分も上々

エコドライブはCO₂削減に非常に有効です。今年第1回目のエコドライブ講習会を、2月8日と11日に百草園駅そばの「多摩ドライビングスクール」で開催しました。

この講習会は、教室での講義に加え、実際に車を使って公道を走行して行いました。参加者の皆さまは、まず始めにいつもと同じ運転で決めら



▲教習所内でエコドライブを練習



▲公道で燃費を測定

れたルートを走行します。次に講師からエコドライブのコツなどについて受講したのち、再び同じルートを走行します。走行後は、受講の前



▲診断書で運転内容を分析

上)したか、グラフなどを使ってご自身の「エコドライブ度」を把握していただき、今後の運転に生かしていただくという内容です。

今回の講習会では、参加者平均で19.5%の燃費改善の効果が

ありました。参加された市民や事業者の皆さまからは、「自分の運転のクセが分かり、コツがつかめた」、「多くの方に体験してもらい、今後も続けてほしい」、「少しの心がけで燃費が思ったより向上し驚いた。エコに貢献していると思うと気分がいい」、などの声をいただきました。

次回の講習会は4月以降に広報ひのでお知らせします。

エコ川柳受賞作品の紹介

平成23年8月1日号広報ひので募集したエコ川柳に、全国から857作品の応募がありました。

この中から優秀作品に選ばれた6句を紹介します。

▶市長賞

「文明を 一コマ戻し エコ暮らし」(日野市 近藤春夫さん)

▶会長賞

「エコの道 こどもの笑顔 先に見え」(日野市 加藤直枝さん)

▶議長賞

「省エネを 楽しむ余裕 いい暮らし」(日野市 古園昌子さん)

▶会長代行賞

「突然の 主役にゴーヤ になが笑い」(日野市 牛山武さん)

▶エコクマ賞

「足るを知る そこに明日の エコを知る」(渋谷区 鮎川郁夫さん)

▶エコアラ賞

「夏休み エコを親子で 語り合う」(船橋市 小林功さん)

春のエコ川柳を募集

継続してCO₂を削減していくには、季節に応じた省エネルギーが重要となります。

今回は、「春」における節電や省エネ・CO₂削減などエコをテーマとした川柳を募集します。優秀作品は、省エネルギーや

CO₂削減の啓発などに活用させていただきます。

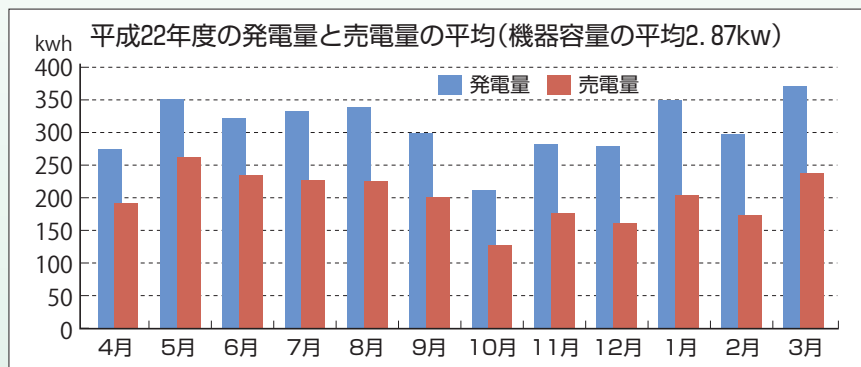
■3月30日(金)(必着)までにはがき、FAXまたはEメールで。川柳、住所、氏名、電話番号を記入※作品は未発表のものに限ります

エコ街区からの報告

市では、環境にやさしいまちづくりの一環で、栄町と平山の市有地売却に合わせ、「エコひいきな街づくりモデル街区事業」として、環境負

荷の小さい住宅による街区を創出しています。

この事業では太陽光発電システムの設置補助を行い、居住者の皆さま



から売買電力量のデータの提供やアンケートにご協力をいただいています。今回はその中からいくつか紹介しますので、導入を検討されている方は参考にしてください。

アンケートの回答から

エコ住宅に居住するようになって変化したこと

- 家族のエコ意識が高まり、みんなで省エネや省資源に取り組むようになった
- 地元の旬の野菜で季節のメニューを楽しむようになった
- 生ごみの堆肥化を始めた

太陽光発電システム

導入して良かった点、心配な点

- 電気代がほぼゼロになった
- モニターで発電量や使用量が見えるので、省エネを楽しみながらできている
- 将来のメンテナンスが不安・屋根の上の重量が増し、地震の際に心配

太陽光発電システム

導入を検討している皆さまへのアドバイスなど

- 日当たりをよく調査して検討したほうがよい
- できるだけ大容量にしたほうがよい

ふだん着でCO₂をへらそう宣言者へのアンケート結果

ふだん着でCO₂をへらそう宣言後の省エネルギーの取り組みについて、平成23年7月にアンケートを実施しました。

宣言者約2万世帯を対象に郵送で

実施し、約14%に当たる世帯から回答がありました。この集計結果から、主なものをご紹介します。

▶集計結果から

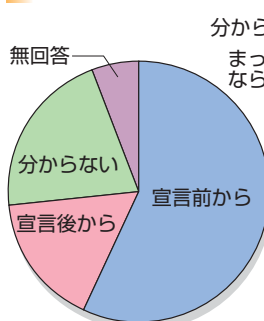
宣言いただいた世帯では、引き続き

省エネルギーを継続している世帯が多く、一定の効果がうかがえました。

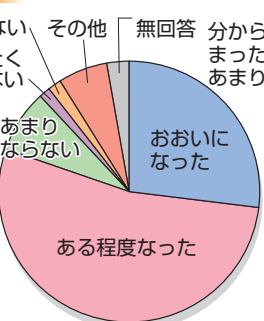
また、省エネルギーを続けるコツ

としては、光熱水費の記録や習慣化のほか、家族間で声を掛け合うことや早寝早起きという声もありました。

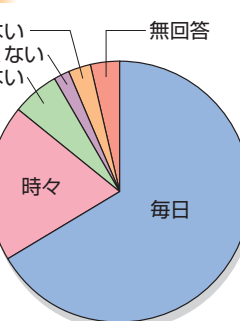
あなたは省エネルギー・省資源についていっしょから取り組んでいますか?



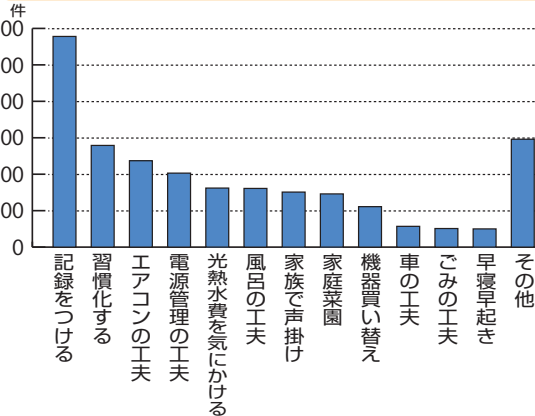
この宣言は、生活スタイルを見直すきっかけになりましたか?



宣言項目について、引き続き取り組んでいますか? (7項目平均値)



行動を続けるためのコツがあれば教えてください



記録や習慣化 家族での声掛け などみんなも やってみよう!

